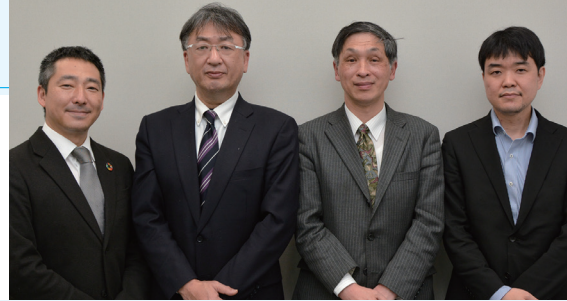


# 意匠と機能を兼ね備えた 「デザインング・メタル」を展開



左から 日本製鉄(株) 薄板事業部 浜崎由基氏、  
日本製鉄(株) 薄板事業部 松田修二氏、  
日鉄ステンレスアート(株) 営業部 石丸好和氏、  
日本製鉄(株) チタン事業部 清水健太郎氏

日本製鉄グループは、薄板(鉄板)、ステンレス、チタンに意匠性や機能性を付与した商品を開発・製造しています。これら意匠系商品を「デザインング・メタル」とし、建築物やプロダクト向けの商品として展開。3品種が事業連携しながらそれぞれの金属の特性や質感を紹介することで、用途やニーズに合わせて素材を選択できるよう、建築家やプロダクトデザイナーに向けて発信しています。

## カーボンニュートラル実現に向けて

当社は、薄板(鉄)、ステンレス、チタンの意匠系商品群を「デザインング・メタル」と名付け、それぞれの鋼材の特性や魅力をお伝えしています。目的や用途、予算に合わせて使い分けいただけるように寿命や価格などの情報をわかりやすく発信しています。

鉄鋼業界は2050年までにCO<sub>2</sub>排出量をゼロにすることを掲げています。一般的な鉄の製造には、1トンあたり約2トンのCO<sub>2</sub>が排出され、業界はこの抑制に取り組んでいますが、加工後の塗装工程でも鉄をつくるのに匹敵するCO<sub>2</sub>が発生します。「デザインング・メタル」はあらかじめ色彩や表面加工を施した鋼材のため、後工程での塗装を省き、環境面でも優れています。

## 鉄の風合いを実現した意匠性鋼板

2020年にリリースした「FeLuce」<sup>フェルルーチェ</sup>は、めっき層にヘアライン調の加工を施した電気めっき鋼板です。素材の表面に塗料やフィルムを付加する従来の手法と異なり、めっき層に直接加工を施すことで金属本来の風合いを実現。その上に指紋を目立ちにくくする新規開発の薄膜樹脂コートを塗布。加工性にも優れています。ブラックとシルバーの2色で、業務用ランドリー機器などスタイリッシュな電化製品や、内装パネルにも採用されています。

また、黒色めっき鋼板「黒ZAM」<sup>ザム</sup>は、スケルトン天井の電路支持材など内装用建材として活用されています。



意匠性の高い薄板、ステンレス、チタンを「デザインング・メタル」として展開

## 高級感あるステンレス意匠鋼板

グループ会社の日鉄ステンレスアート(旧月星アート工業)は、ステンレス鋼板に表面仕上げ、色彩コーティング、機能性コーティングを施したステンレス意匠鋼板を製造・販売。色彩、光沢、テクスチャー、機能を組み合わせた多種多様な商品を取り揃え、国内メーカーのエレベーター昇降機では高いシェアを誇っています。

ステンレス意匠鋼板は長寿命で高級感があり、デザイン性の求められる建物の内装材などに採用されています。ステンレスの清潔さを活かして、キッチンキャビネットや店舗・住設機器などにも採用されています。

## 軽くて強い鮮やかな意匠性チタン

チタンはこれまで軽い・強い・錆びにくいという特性から航空機など工業製品で活用されていました。そこに意

匠性を付与し、建築材料として使っていただける商品「TranTixxii」<sup>トランティクシー</sup>を開発。表面皮膜をナノレベルで制御し、素材そのものが放つ多彩な色をつくり出し、テクスチャーと合わせて1,000種類超の表現を実現します。塗装ではないため紫外線による劣化もなく、建築物の美観の長期保持に貢献します。

また、チタンは高耐久でありながら比重は鉄やステンレスの約半分のため、屋根材に使用することで軽量化と耐震性向上にも寄与。増上寺大殿の屋根瓦葺き替えでは厚さ0.3mmの「TranTixxii」を屋根瓦に採用いただきました。欧州のレッド・ドット・デザイン賞と日本のグッドデザイン賞も受賞している商品です。

鉄、ステンレス、チタン、3品種それぞれの特性を理解していただき、カーボンニュートラル社会の実現に向けて皆さんと一緒に前に進んでいきます。

## NIPPON STEEL 日本製鉄株式会社

<https://www.nipponsteel.com/>

製鉄業を中心に、エンジニアリング、ケミカル・マテリアル、システムソリューションの4つの事業を推進。

薄板事業部 東京都千代田区丸の内2-6-1 TEL:03-6867-5307  
チタン事業部 東京都千代田区丸の内2-6-1 TEL:03-6867-3948  
日鉄ステンレスアート 兵庫県尼崎市次屋2-2-24 TEL:06-6499-1188



デザインング・メタルHP ↑